



ボゴタ市。東部山地帯から撮影。本 M/P では、東部山地帯における 76 の井戸による地下水開発・保全事業を提案している。



ボゴタ川の源流部。本調査域の最上流部に位置する。



San Rafael 貯水池。この貯水池にはチンガサダムからの導水が貯水されており、ボゴタ市への最大給水源となっている。一方、自然災害によってチンガサダムからの導水が停止した場合、その代替水源として地下水が注目されている。



テイビトック浄水場。San Rafael 貯水池に次ぐ規模の給水源であり、ボゴタ市や近隣都市を給水対象としている。この浄水場ではボゴタ川の河川水が取水されているが、地下水の利用によって取水量を減らすことが可能である。



Vitelma 取水地における人工涵養パイロットスタディのための井戸掘削状況。この井戸はグアダルペ層の高い人工涵養能力を示した（900m³/日）。



東部山地帯の Vitelma 取水地。この取水池はサンクリストバル川から取水している。本 M/P では、当取水池の周辺においてサンクリストバル川の河川水を利用した人工涵養事業を提案している。



ボゴタ平原の花卉栽培農園の状況。花卉栽培はボゴタ平原における主要な産業の一つであり、大きな利益を生んでいる。



花卉栽培園における揚水井戸。ボゴタ平原では多量の地下水が花卉栽培に利用されている。



ボゴタ平原西部に位置するスパチョケ地域の風景。本 M/P では、ボゴタ平原中央部・西部地域における地下水保全事業（地下水人工涵養）を提案している。ボゴタ平原では農業用の溜め池が各地に分布し、表流水の利用が盛んである。



ボゴタ平原西部を流れるスパチョケ川の流水状況。洪水期における余剰河川水を、地下水人工涵養に利用可能である。



テイビトック浄水場付近のボゴタ川水面の状況。水質汚濁が認められる。ボゴタ平原における開発事業が河川水質環境を悪化させている。河川からの取水量を減らすことが河川環境の改善につながる。



ボゴタ市近郊シベリア地区における地盤の不等沈下による道路の陥没状況。不等沈下と地下水汲み上げとの関連が指摘されているが、現在のところ明確な証拠は見当たらない。